



2023年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月12日

上場会社名 株式会社インターアクション 上場取引所 東
 コード番号 7725 URL <https://www.inter-action.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木地 伸雄
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室経営企画グループ主任 (氏名) 川口 香織 TEL 045-263-9220
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第2四半期の連結業績（2022年6月1日～2022年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年5月期第2四半期 | 3,032 | 1.1 | 614 | 3.4 | 660 | 8.0 | 429 | 11.1 |
| 2022年5月期第2四半期 | 2,999 | △11.2 | 594 | △32.3 | 611 | △30.7 | 386 | △34.1 |

(注) 包括利益 2023年5月期第2四半期 435百万円 (12.7%) 2022年5月期第2四半期 386百万円 (△35.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年5月期第2四半期 | 39.42 | — |
| 2022年5月期第2四半期 | 35.19 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年5月期第2四半期 | 11,931 | 9,688 | 81.2 |
| 2022年5月期 | 11,533 | 9,340 | 81.0 |

(参考) 自己資本 2023年5月期第2四半期 9,688百万円 2022年5月期 9,340百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年5月期 | — | 0.00 | — | 20.00 | 20.00 |
| 2023年5月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2023年5月期（予想） | — | — | — | 25.00 | 25.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年5月期の連結業績予想（2022年6月1日～2023年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 7,623 | 26.7 | 2,200 | 94.7 | 2,224 | 85.9 | 1,459 | 91.8 | 133.96 |

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 株式給付信託型ESOP及び株式給付信託型役員報酬制度を導入しており、株式給付ESOP信託口及び株式給付役員報酬信託口が所有する当社株式を含む自己株式数を控除した期中平均株式数により「1株当たり当期純利益」を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年5月期2Q | 11,510,200株 | 2022年5月期 | 11,510,200株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年5月期2Q | 601,007株 | 2022年5月期 | 647,207株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年5月期2Q | 10,881,847株 | 2022年5月期2Q | 10,978,059株 |

(注) 当社は、株式給付信託型ESOP及び株式給付信託型役員報酬制度を導入しており、株式給付ESOP信託口及び株式給付役員報酬信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において予想できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報) | 9 |
| (収益認識関係) | 10 |
| 3. 2023年5月期第2四半期決算短信(連結)補足説明 | 11 |
| (1) 受注実績の状況 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績について、売上高は前年同期と比較して増加いたしました。これは、主に環境エネルギー事業セグメントにおいて、製品の販売が堅調に推移したこと並びにインダストリー4.0推進事業セグメントにおいて、製品の販売が好調に推移したためであります。

営業利益に関しても前年同期と比較して増加いたしました。これは、主にIoT関連事業セグメントにおいて、収益性の高い製品の販売が堅調に推移したこと並びにインダストリー4.0推進事業セグメントにおいて、製品の販売が好調に推移したためであります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は3,032百万円（前年同期の売上高2,999百万円に比し、1.1%の増加）、粗利率の好転等により売上総利益は1,468百万円（前年同期の売上総利益1,389百万円に比し、5.7%の増加）、営業利益は614百万円（前年同期の営業利益594百万円に比し、3.4%の増加）、経常利益は660百万円（前年同期の経常利益611百万円に比し、8.0%の増加）、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は429百万円（前年同期の親会社株主に帰属する四半期純利益386百万円に比し、11.1%の増加）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

(IoT関連事業)

当第2四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は1,829百万円（前年同期の売上高1,971百万円に比し、7.2%の減少）、セグメント利益は973百万円（前年同期のセグメント利益950百万円に比し、2.5%の増加）となりました。これは、収益性の高い海外顧客向け検査用光源装置の販売が堅調に推移したものの、第1四半期に引き続き、国内顧客向け検査用光源装置及び瞳モジュールの販売が低調に推移したためであります。

(環境エネルギー事業)

当第2四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は360百万円（前年同期の売上高340百万円に比し、6.1%の増加）、セグメント損失は14百万円（前年同期のセグメント利益は13百万円）となりました。これは、第1四半期に引き続き、単価の高い乾燥脱臭装置及び排ガス処理装置本体の販売が堅調に推移したものの、収益性の高いメンテナンス案件の売上が低調に推移したためであります。

(インダストリー4.0推進事業)

当第2四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は842百万円（前年同期の売上高687百万円に比し、22.5%の増加）、セグメント利益は40百万円（前年同期のセグメント損失は19百万円）となりました。これは、精密除振装置の販売が好調に推移したこと並びに歯車試験機の販売が堅調に推移したためであります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ398百万円増加し、11,931百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ410百万円増加し、10,626百万円となりました。これは、電子記録債権が384百万円減少したものの、仕掛品が687百万円、原材料及び貯蔵品が92百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ12百万円減少し、1,305百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ51百万円増加し、2,243百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ347百万円増加し、9,688百万円となりました。これは、前事業年度の期末配当金221百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益429百万円を計上したこと及び自己株式が132百万円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ78百万円減少し、6,661百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは143百万円の収入（前年同期は186百万円の収入）となりました。これは、棚卸資産の増加779百万円及び法人税等の支払額155百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益660百万円の計上及び売上債権の減少418百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは70百万円の支出（前年同期は54百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出60百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは200百万円の支出（前年同期は424百万円の支出）となりました。これは、配当金の支払額220百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、2022年10月12日公表時より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年5月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日) |
|--------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,751,660 | 6,671,526 |
| 受取手形及び売掛金 | 781,177 | 816,373 |
| 電子記録債権 | 716,488 | 331,819 |
| 営業投資有価証券 | 36,549 | 37,541 |
| 商品及び製品 | 167,254 | 116,299 |
| 仕掛品 | 1,142,354 | 1,829,523 |
| 原材料及び貯蔵品 | 579,614 | 672,044 |
| その他 | 69,594 | 170,464 |
| 貸倒引当金 | △28,624 | △18,969 |
| 流動資産合計 | 10,216,069 | 10,626,624 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 (純額) | 263,901 | 254,021 |
| 土地 | 165,149 | 165,149 |
| その他 (純額) | 192,241 | 216,963 |
| 有形固定資産合計 | 621,292 | 636,134 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 185,882 | 161,460 |
| その他 | 25,916 | 33,190 |
| 無形固定資産合計 | 211,798 | 194,651 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 130,437 | 130,447 |
| その他 | 435,333 | 354,836 |
| 貸倒引当金 | △81,623 | △10,858 |
| 投資その他の資産合計 | 484,147 | 474,426 |
| 固定資産合計 | 1,317,238 | 1,305,212 |
| 資産合計 | 11,533,308 | 11,931,836 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年5月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 495,551 | 469,531 |
| 短期借入金 | 180,000 | 240,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 30,000 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 69,902 | 56,292 |
| 未払法人税等 | 143,282 | 198,205 |
| 製品保証引当金 | 18,632 | 16,090 |
| 役員株式給付引当金 | 133,000 | 73,400 |
| その他 | 475,640 | 563,073 |
| 流動負債合計 | 1,546,008 | 1,616,592 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 523,954 | 496,126 |
| 株式給付引当金 | 8,457 | 9,149 |
| 退職給付に係る負債 | 87,716 | 95,355 |
| 資産除去債務 | 10,150 | 10,150 |
| その他 | 16,130 | 16,354 |
| 固定負債合計 | 646,409 | 627,135 |
| 負債合計 | 2,192,417 | 2,243,727 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,760,299 | 1,760,299 |
| 資本剰余金 | 3,352,855 | 3,352,855 |
| 利益剰余金 | 5,362,752 | 5,570,486 |
| 自己株式 | △1,142,686 | △1,009,866 |
| 株主資本合計 | 9,333,221 | 9,673,775 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 7,669 | 14,333 |
| その他の包括利益累計額合計 | 7,669 | 14,333 |
| 純資産合計 | 9,340,890 | 9,688,109 |
| 負債純資産合計 | 11,533,308 | 11,931,836 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 2,999,600 | 3,032,703 |
| 売上原価 | 1,609,975 | 1,564,247 |
| 売上総利益 | 1,389,625 | 1,468,456 |
| 販売費及び一般管理費 | 795,243 | 853,841 |
| 営業利益 | 594,381 | 614,614 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 174 | 1,697 |
| 受取配当金 | 50 | 120 |
| 貸与資産賃貸料 | 4,763 | 4,620 |
| 為替差益 | 13,077 | 43,137 |
| その他 | 10,962 | 5,799 |
| 営業外収益合計 | 29,028 | 55,375 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,438 | 3,965 |
| 貸与資産諸費用 | 5,050 | 4,147 |
| 持分法による投資損失 | 520 | — |
| その他 | 1,814 | 1,328 |
| 営業外費用合計 | 11,824 | 9,442 |
| 経常利益 | 611,586 | 660,547 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 96 | 63 |
| 特別利益合計 | 96 | 63 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 5,095 | — |
| 特別損失合計 | 5,095 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 606,587 | 660,611 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 172,706 | 202,591 |
| 法人税等調整額 | 47,572 | 29,013 |
| 法人税等合計 | 220,279 | 231,604 |
| 四半期純利益 | 386,308 | 429,006 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 386,308 | 429,006 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 386,308 | 429,006 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | 465 | 6,663 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △116 | — |
| その他の包括利益合計 | 348 | 6,663 |
| 四半期包括利益 | 386,657 | 435,670 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 386,657 | 435,670 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 606,587 | 660,611 |
| 減価償却費 | 71,253 | 54,835 |
| のれん償却額 | 24,421 | 24,421 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 1,170 | △10,438 |
| 製品保証引当金の増減額 (△は減少) | △2,691 | △2,562 |
| 株式給付引当金の増減額 (△は減少) | 348 | 691 |
| 役員株式給付引当金の増減額 (△は減少) | △126,300 | △59,600 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △5,076 | 7,175 |
| 受取利息及び受取配当金 | △224 | △1,818 |
| 支払利息及び保証料 | 4,530 | 3,974 |
| 為替差損益 (△は益) | △9,088 | △44,290 |
| 有形固定資産除却損 | 5,095 | — |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | △96 | △63 |
| 棚卸資産評価損 | 12,088 | 52,650 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 20,602 | 418,237 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △167,281 | △779,263 |
| 営業投資有価証券の増減額 (△は増加) | 1,986 | △991 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 80,818 | △22,226 |
| その他 | 124,293 | 129 |
| 小計 | 642,438 | 301,473 |
| 利息及び配当金の受取額 | 224 | 1,818 |
| 利息及び保証料の支払額 | △4,518 | △4,077 |
| 法人税等の支払額 | △452,018 | △155,853 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 186,126 | 143,359 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △1,300 | — |
| 定期預金の払戻による収入 | 3,000 | 1,300 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △56,156 | △60,188 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 97 | — |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,943 | △11,980 |
| 敷金の差入による支出 | △136 | — |
| 敷金の回収による収入 | 1,505 | — |
| その他 | 146 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △54,787 | △70,868 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △20,000 | 60,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △83,223 | △41,438 |
| 社債の償還による支出 | △30,000 | △30,000 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △5,359 | △4,787 |
| 自己株式の取得による支出 | △135,124 | — |
| 自己株式の売却による収入 | 74,049 | 36,012 |
| 配当金の支払額 | △225,073 | △220,519 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △424,730 | △200,731 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 8,747 | 49,407 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △284,644 | △78,833 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,211,083 | 6,740,352 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 6,926,439 | 6,661,519 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間における主なものは、株式給付役員報酬信託において、対象者への現金給付のため当社株式の売却20,800株(60,012千円)及び対象者への株式給付25,200株(72,707千円)が行われました。

この結果、自己株式が132,820千円減少し、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は1,009,866千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(従業員に信託を通じて自社の株式を交付する株式給付信託制度)

1. 取引の概要

当社は、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式等を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-E S O P)」(以下、「本制度」という。)を導入しております。

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式等を給付する仕組みであります。当社は、従業員に対し個人の貢献度等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権の取得をしたときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付いたします。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式は、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により純資産の部に「自己株式」として計上しております。前連結会計年度末の当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、13,736千円、27,400株、当第2四半期連結会計期間末の当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、13,636千円、27,200株であります。

(取締役的信託を通じて自社の株式を交付する業績連動型株式報酬制度)

1. 取引の概要

当社取締役の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価上昇によるメリットのみならず、株価下落リスクまでも株主の皆様と共有することで、中長期的な業績向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めるため、取締役に対して自社の株式等を給付する「株式給付信託(BBT=Board Benefit Trust)」(以下、「本制度」という。)を導入しております。

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役に対して、当社取締役会が定める役員株式給付規程に従って、役位及び業績に応じて付与されるポイントに基づき、当社株式等が信託を通じて毎年給付される業績連動型の株式報酬制度であります。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式は、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により純資産の部に「自己株式」として計上しております。前連結会計年度末の当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、499,801千円、173,228株、当第2四半期連結会計期間末の当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、367,080千円、127,228株であります。

(新型コロナウイルス感染症及びロシア・ウクライナ情勢に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度の期末決算短信の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症及びロシア・ウクライナ情勢に伴う会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等及びロシア・ウクライナ情勢の影響に関して、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | IoT関連事業 | 環境エネルギー事業 | インダストリー4.0推進事業 | 合計 |
|-------------------|-----------|-----------|----------------|-----------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,971,577 | 340,316 | 687,705 | 2,999,600 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — |
| 計 | 1,971,577 | 340,316 | 687,705 | 2,999,600 |
| セグメント利益又は損失(△) | 950,161 | 13,213 | △19,679 | 943,695 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 943,695 |
| 全社費用(注) | △337,434 |
| セグメント間取引消去 | 209 |
| 棚卸資産の調整額 | △12,088 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 594,381 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年6月1日 至 2022年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | IoT関連事業 | 環境エネルギー事業 | インダストリー4.0推進事業 | 合計 |
|-------------------|-----------|-----------|----------------|-----------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,829,632 | 360,946 | 842,123 | 3,032,703 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — |
| 計 | 1,829,632 | 360,946 | 842,123 | 3,032,703 |
| セグメント利益又は損失(△) | 973,592 | △14,776 | 40,126 | 998,942 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 998,942 |
| 全社費用(注) | △331,876 |
| セグメント間取引消去 | 199 |
| 棚卸資産の調整額 | △52,650 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 614,614 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間（自 2021年6月1日 至 2021年11月30日）

(単位：千円)

| | IoT関連事業 | 環境エネルギー事業 | インダストリー4.0推進事業 | 合計 |
|-----------------|-----------|-----------|----------------|-----------|
| 一時点で移転される財 | 1,971,577 | 340,303 | 687,705 | 2,999,587 |
| 一定の期間にわたり移転される財 | — | — | — | — |
| 顧客との契約から生じる収益 | 1,971,577 | 340,303 | 687,705 | 2,999,587 |
| その他の収益(注) | — | 13 | — | 13 |
| 外部顧客への売上高 | 1,971,577 | 340,316 | 687,705 | 2,999,600 |

(注) その他の収益は、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号)で認識される収益であります。

当第2四半期連結累計期間（自 2022年6月1日 至 2022年11月30日）

(単位：千円)

| | IoT関連事業 | 環境エネルギー事業 | インダストリー4.0推進事業 | 合計 |
|-----------------|-----------|-----------|----------------|-----------|
| 一時点で移転される財 | 1,829,632 | 357,955 | 842,123 | 3,029,711 |
| 一定の期間にわたり移転される財 | — | — | — | — |
| 顧客との契約から生じる収益 | 1,829,632 | 357,955 | 842,123 | 3,029,711 |
| その他の収益(注) | — | 2,991 | — | 2,991 |
| 外部顧客への売上高 | 1,829,632 | 360,946 | 842,123 | 3,032,703 |

(注) その他の収益は、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号)で認識される収益であります。

3. 2023年5月期第2四半期決算短信（連結）補足説明

(1) 受注実績の状況

①受注実績

| セグメントの名称 | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日) | | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日) | | 増減 | |
|----------------|--|--------------|--|--------------|-------------|--------------|
| | 受注高 (千円) | 受注残高 (千円) | 受注高 (千円) | 受注残高 (千円) | 受注高 (千円) | 受注残高 (千円) |
| IoT関連事業 | 2,248,919 | 1,992,492 | 1,494,126 | 3,063,998 | △754,792 | 1,071,505 |
| 環境エネルギー事業 | 383,663 | 326,164 | 490,164 | 808,445 | 106,501 | 482,280 |
| インダストリー4.0推進事業 | 697,073 | 257,167 | 717,316 | 347,407 | 20,242 | 90,239 |
| 合計 | 3,329,656 | 2,575,825 | 2,701,607 | 4,219,851 | △628,048 | 1,644,026 |

(注) 上記金額には、見込み生産を行っている事業は含まれておりません。